

JAWA 第 14 回ジャパンオープン車イスアームレスリング選手権大会

第 12 回西日本オープンアームレスリング選手権大会

開 催 要 項

(JAWA 第 14 回ジャパンオープン車イスアームレスリング選手権大会用)

1 大会の目的

アームレスリング競技は腕相撲という感覚で気軽に楽しめるスポーツである。近年一般の大会に車イス使用者の参加もあり、徐々に普及の兆しをみせている。そのアームレスリングは組み手による相手の温もりが心の交流となり、健康づくりにも効果がある。そして、本大会がその普及と振興に寄与することを目的とする。

2 主 催

兵庫県アームレスリング連盟

3 主 管

明石市アームレスリング連盟 (兵庫県アームレスリング連盟 JAWA HYOGO 明石支部)

4 後 援

(公財) 兵庫県体育協会・(公財) 兵庫県障害者スポーツ協会・神戸市教育委員会
明石市教育委員会・明石市体育協会・兵庫県生涯スポーツ連合・兵庫県立スポーツ交流館
神戸新聞社・日本アームレスリング連盟

5 大会期日

平成 26 年 3 月 2 日 (日曜日) 9:00 受付 10:00 競技開始

6 大会会場

兵庫県立障害者スポーツ交流館 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター内)
〒651-2181 神戸市西区曙町 1070 TEL 078-927-2727

7 大会参加資格

- ① 満 16 歳以上 (平成 25 年 3 月 3 日現在) であること
- ② 身体障害者手帳を所持する車椅子使用者で主催者が認定したもの
- ③ 身体障害者手帳、療育手帳を所持するもので主催者が認定したもの (立位障害者)

8 種目

頸髄損傷の部 (車いす)	男子	ライトハンド	-75kg	+75kg	女子	ライトハンド	無差別
		レフトハンド	-75kg	+75kg		レフトハンド	無差別
胸腰髄損傷の部 (車いす)	男子	ライトハンド	-75kg	+75kg	女子	ライトハンド	無差別
		レフトハンド	-75kg	+75kg		レフトハンド	無差別
ふれあいの部 (立位)	男子	ライトハンド	無差別		女子	ライトハンド	無差別
		レフトハンド	無差別			レフトハンド	無差別
聴覚視覚障害 の部 (立位)	男子	ライトハンド	無差別		女子	ライトハンド	無差別
		レフトハンド	無差別			レフトハンド	無差別

注) A、LAT、Cはパラリンピックや国際大会における陸上競技のクラス分類の略記号

9 参加申し込み方法

●期日：平成26年2月14日（金）必着

●方法：参加申込書記入の上現金書留にて下記まで送付

〒673-0424 三木市自由が丘本町3-5 FAX 0794-82-4275

携帯 090-2598-6115

ジャパンオープン車イスアームレスリング大会事務局 仲 博幸

●出場費 2,000円（ライト、レフト2種目出場者は1,000円追加）

10 表彰

各クラス共 優勝 金メダル, 2位 銀メダル, 3位 銅メダル

11 競技方法

クラス	区分内容	IPCクラス
頸 髄 損 傷 の 部	クラス1：上肢機能障害 頸髄損傷、前腕切断、脳 性麻痺他による上肢の機 能障害	切断：競技する側の手部、前腕の切断（手関節 離断含む） A7-8
		機能障害：筋力や運動性の低下、上肢に痙性あ り LAT1
		・第8頸髄まで残存（手首や指の屈筋や伸筋は 機能するが、虫様筋や肋間筋は機能しない） T1-2
		脳性麻痺で上肢に不随運動をともなう C1、C2U、C 3
胸 腰 髄 損 傷 の 部	クラス2：下肢機能障害 脊髄損傷、下肢切断、そ の他原因による下肢機能 障害	上肢機能は正常またはほぼ正常。神経機能残存 レベルT1~S2 T3-4
		下肢の切断（大腿・下腿切断、離断など）*競 技中は車椅子使用すること A1-4
		下肢の機能障害（杖や補装具の使用にかかわら ず歩行は可能） LAT2-4

ダブルイルミネーション方式（2敗するまで優勝のチャンスあり）

その他はJAWAの規定に準じる

12 その他

（1）大会中の不慮の事故については応急処置のみに対応するが一切の責任は主催者は負わない

JAWA 第14回ジャパンオープン車イスアームレスリング 選手権大会 出場申込書

受理番号		受理年月日 平成25年 月 日	
ふりがな 氏名		性別 男・女	
生年月日	(19 年) 昭和 年 月 日 生れ (歳)		
住所	〒 電話 () ー 携帯		
障害名	肢体・視覚・聴覚・知的 (いずれか○印)	体重 * 当日計量します Kg	
特記事項			
出場クラス	出場するクラスに○印をつけて下さい		
頸髄損傷の部 (車イス)	男子ライトハンド	—75kg +75kg	女子ライトハンド無差別
	男子レフトハンド	—75kg +75kg	女子レフトハンド無差別
胸腰髄損傷の部 (車イス)	男子ライトハンド	—75kg +75kg	女子ライトハンド無差別
	男子レフトハンド	—75kg +75kg	女子レフトハンド無差別
ふれあいの部 (立位)	男子ライトハンド	無差別	女子ライトハンド無差別
	男子レフトハンド	無差別	女子レフトハンド無差別
視覚聴覚障害 の部(立位)	男子ライトハンド	無差別	女子ライトハンド無差別
	男子レフトハンド	無差別	女子レフトハンド無差別
T シャツのサイズ	S / M / L / X L ○印をつけてください		

出場費 2,000円 (3,000円) * 2種目出場は1,000円追加

を添えて申し込みます。

領収印

大会会長殿

私は、JAWA 第14回ジャパンオープン車イスアームレスリング選手権大会
に出場するにあたりスポーツマンシップにのっとり良識ある行動をとり主催者
の指示に従うことを誓います。

なお、競技中の事故などに関しては責任を一切問いません。

平成26年 月 日

氏名

印

JAWA 第14回ジャパンオープン車イスアームレスリング選手権大会
第12回西日本オープンアームレスリング選手権大会
開催要項(第12回西日本オープンアームレスリング選手権大会用)

1. 大会の目的

アームレスリング競技は腕相撲という感覚で気軽に楽しめるスポーツである。近年一般の大会に車イス使用者の参加もあり、徐々に普及の兆しを見せている。そのアームレスリングは組み手による相手の温もりが交流となり、健康づくりにも効果がある。そして本大会がその普及と振興に寄与することを目的とする。

2. 主催

兵庫県アームレスリング連盟

3. 主管

明石市アームレスリング連盟

(兵庫県アームレスリング連盟 JAWA HYOGO 明石支部)

4. 後援

(公財)兵庫県体育協会(公財)兵庫県障害者スポーツ協会・神戸市教育委員会・明石市体育協会・明石市教育委員会
・兵庫県生涯スポーツ連合・兵庫県立障害者スポーツ交流館・神戸新聞社・日本アームレスリング連盟

5. 期日

平成26年3月2日(日) 9:00 受付 10:00 競技開始

6. 会場

兵庫県立障害者スポーツ交流館(兵庫県立総合リハビリテーションセンター内)

住所:〒651-2181 神戸市西区曙町1070 電話:078-927-2727(代表) FAX:078-927-8022

7. 参加賞

アームレスリングTシャツ

参加申し込み方法

- 期日:平成26年2月14日(金) 必着
- 方法:参加申込書にご記入の上、現金書留にて下記までご送付下さい。
〒673-0034 兵庫県明石市林2-2-1
担当 金井 義信
Tel: 090-1449-2053 078-923-4814
- 出場費 3,000円(ワンハンド+ごとに2,000円追加)

8. 表彰

各クラス共、優勝:金メダル 2位:銀メダル 3位:銅メダル

9. 競技方法

ダブルイルミネーション方式(2敗するまで優勝のチャンスあり)

10. 種目

西日本オープン大会

女子ライトハンド(無差別級) 男子ライトハンド-60-65-70-80+80(kg級)

女子レフトハンド(無差別級) 男子レフトハンド-60-65-70-80+80(kg級)

11. その他

- (1) 大会中の不慮の事故については応急処置のみに対応するが一切の責任は主催者は負わない。
- (2) 定員 150名

第12回西日本オープンアームレスリング選手権大会 出場申込書

受理番号		受理年月日：平成25年 月 日				
フリガナ						
氏名						
生年月日	(19 年)昭和 年 月 日生まれ (歳) 平成					
住所	〒	電話番号() -				
		携帯				
体重	当日計量します kg					
出場クラス (kg級)	出場クラスに○を付けて下さい					
ライトハンド	女子無差別	男子 -60	男子 -65	男子 -70	男子 -80	男子 +80
レフトハンド	女子無差別	男子 -60	男子 -65	男子 -70	男子 -80	男子 +80
出場費	3,000円 2種目以上追加は2,000円を追加したものを添えて申し込みます。					

大会会長殿

私は第12回西日本オープンアームレスリング選手権大会に出場するにあたり
スポーツマンシップにのっとり、良識ある行動をとり、主催者の指示に従うことを
誓います。

なお、競技中の事故などに対しては一切責任を問いません。

平成26年 月 日

氏名

印

JAWA 第 14 回ジャパンオープン車イスアームレスリング選手権大会

第 12 回西日本オープンアームレスリング選手権大会

趣 意 書

障害者のための車イス競技

身体に障害をもった人の参加できるスポーツが近年盛んになっておりますが、格闘技スポーツのジャンルで障害者ができる唯一の競技がアームレスリングです。

さらには、障害者と健常者が同じ競技台で対等に対戦することすら可能です。くしくも身体にハンディをもたれたひと。しかし、考えてみれば残された機能を最大に生かして使う。これは尊い生命に対する本来のあるべき姿ではないでしょうか。アームレスリングを通じて、その姿を自覚し情報・体力・精神力を培い、未来へ向けて力強く生きる大きな活力を得て欲しい。

アームレスリングの魅力

アームレスリングは闘志を掻き立てて、勝負に終始するだけでなく、手と手を組み合うことにより、相手のぬくもり・胸の鼓動・血潮の流れまで直接伝わり、肌で感じることができ、それが友情の輪となる素晴らしいスポーツです。加えて経験や特別の訓練がなくても、また、老若男女それぞれの力量に応じて競技が展開できることは、大きな魅力となっています。

大会の意義

車イスの大会と健常者の大会を同時に開催することで、相互の交流をはじめ、車イスの選手の開発・技術向上・健常者大会挑戦意欲拡大等大きな意義を持つ大会と位置づけされます。

大会役員

大会名誉会長	兵庫県アームレスリング連盟名誉会長	西村やすとし
大会会長	兵庫県アームレスリング連盟会長	金田文太郎
大会顧問	兵庫県アームレスリング連盟顧問	熊田智水
	明石市アームレスリング連盟名誉会長	小谷泰朗
大会副会長	兵庫県立障害者スポーツ交流館所長	川口清隆
	兵庫県アームレスリング連盟副会長	光田 弘
	明石市アームレスリング連盟会長	
	兵庫県アームレスリング連盟副会長	西田啓一
大会実行委員長	兵庫県アームレスリング連盟理事長	金井義信
	明石市アームレスリング連盟理事長	
大会総務部長	兵庫県アームレスリング連盟副理事長	仲 博幸
	明石市アームレスリング連盟副会長	
審判部長	兵庫県アームレスリング連盟審判長	田中克幸
審判員	日本アームレスリング連盟公認レフリー	
大会実行委員	兵庫県立障害者スポーツ交流館スタッフ	
	兵庫県アームレスリング連盟スタッフ	
	明石市アームレスリング連盟スタッフ	